

かつお一本釣り漁業 公表用実技試験問題（専門級）

1. 作業の安全

(1) 安全装具の装着・収納（3分）

- ① ゴム長靴、合羽、作業用救命衣、ヘルメットを装着する。
  - ② 装着物を外し、正しく収納する。
- （使用機材） 各自通常使用中の上記装具

2. 漁具の製作・補修

(1) ロープの結び方（8分）

- ① かえる又結び ② 巻結び ③ もやい結び ④ バックスプライス
- （使用機材） 長さ2m、中程度の太さのロープ数本

(2) 漁具の製作Ⅰ（3分）

- ① 釣竿の先端のつぼ（かんざし、蛇口）に道糸を結ぶ。
- ② 餌釣用の釣針にハリスをつけ道糸を結ぶ。

（使用機材） 釣竿、餌釣針、ハリス、道糸

釣竿：通常の釣竿（操業で使っているものを使う）

釣り針：操業で使っている釣り針

ハリス：ナイロンテグスで道糸より細いもの

道糸：ナイロンテグスでハリスより太いもの

\*ハリスと道糸は、操業で使っているものが望ましいが、別でも可。

(3) 漁具の製作Ⅱ（15分）

擬餌針に鳥の毛を付け、皮を巻いて擬餌針を作る。

（使用機材） 別紙参照。

3. 漁具・漁労機械の操作

(1) かつおの釣り込み（6分）

かつおを釣り上げ、左脇に抱える動作を5回繰り返し、道糸とハリスを交換する。その後、再びかつおを釣り上げ、左脇に抱える動作を5回繰り返す。

（使用機材） 釣糸をセットした釣竿、かつおの模型、道糸、ハリス

4. 漁獲物の処理

(1) 漁獲物の選別（2分）

40枚の写真を見て、以下の魚の選別をする。

びんちょう、しいら、そうだがつお、かつお、きめじ、ほんまぐろ、その他雑魚、を選別する。

（使用機材） 上記漁獲物の写真・・・大日本水産会が用意

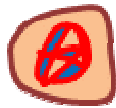
以上

<別紙>

材料：釣り針（返しのあるもの）、



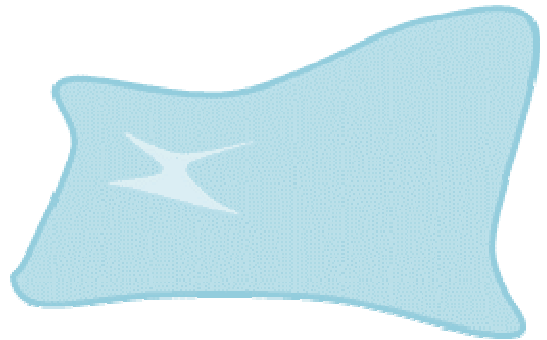
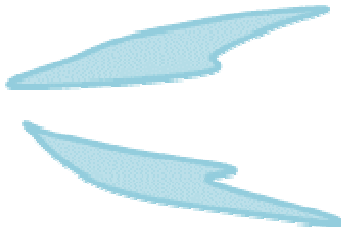
角（貝殻、動物の角類、人工的なもの）、



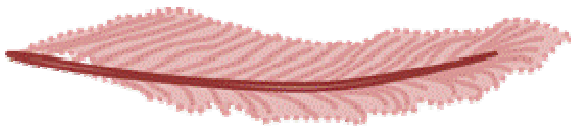
\*釣り針と角が一体化したもので可



魚の皮（ビニールシート可）、



鳥の羽



完成品

